

自己評価表（アーチきくい児童デイサービス）

1/4

実施日：2018年3月10日 回答数：9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	1	1	活動は、1階と2階を使い分けて十分なスペースを確保しています。また、クールダウンスペースとして扉を閉じて利用できる部屋がないため、必要に応じて事務室を活用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	5	0	1	ご利用人数、支援内容に合わせて必要となるスタッフを配置しています。外出時には多くスタッフを配置しています。
	3	活動生活空間等は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3	2	1	1,2階の使い分けで、利用目的をわかりやすく構造化しています。建物は古いですが、それを活かした生活や活動を行っています。危険な箇所が見つかった場合にはすぐに安全確保を講じています。
	4	活動生活空間等は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	5	0	1	チェックリストを作成し毎日清掃・環境整備をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	2	2	デイ開始前のミーティングでは当日の打ち合わせが主となっていますが、個別の支援会議等別に設ける時間でより深く話し合いをしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3	0	3	1年に1度実施しています。改善努力をしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3	0	3	保護者向けと同様に年1回は実施します。ホームページ上ではこの公表が該当します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	0	1	7	数年以内に受診する予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	1	2か月に1回スタッフ研修を開催しています。外部研修は月2回お知らせを配布しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)を作成しているか	5	0	0	4	予め提供を受けた、家族と医療・福祉サービス等社会資源を含む個人情報とフェイスシートを反映して作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	3	標準化した個人情報シート、フェイスシート、サポートブックを使用しており、保護者用の書き方見本もお渡ししています。
	12A	放課後等デイサービスガイドライン総則の基本活動*を複数組み合わせ合わせた放課後等デイサービス計画と支援を行っているか *ア 自立支援と日常生活の充実のための活動 イ 創作活動 ウ 地域交流の機会の提供 エ 余暇の提供	5	2	0	2	毎月の活動会議で翌々月の計画を立案しますが、そのときに必ず基本活動を留意しています。
	12B	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	3	0	4	保護者との面談を踏まえ、ご利用者にとって今一番必要な支援は何かという視点で内容を選択しています。
	13	放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)に沿った支援が行われているか	5	2	0	2	子どもたちの声・保護者の声を聞き、目標に沿った支援を心がけています。

自己評価表（アーチきくい児童デイサービス）

2/4

実施日：2018年3月10日 回答数：9

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	2	3	毎月常勤スタッフで活動会議を行い検討立案しています。それを踏まえて個々の子どもに適した展開方法を検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	2	季節の行事・季節のおやつ作り、工作を取り入れ、発達に合わせた活動になるよう工夫しています。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	4	長期休暇、休日は外食や買い物練習を取り入れています。また、午前中から午後にかけて連続したプログラムを取り入れています。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	4	2	0	3	毎日の活動内容は、集団だけでなく個別活動を組み合わせることで考慮しています。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	1	ミーティングを毎日の活動前に実施しています。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	1	毎日の活動後に反省会を行い、記録と伝言ノートを入力しています。反省会に参加できなかったスタッフやお休みのスタッフは翌日以降にノートを確認しています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	1	行っていますが、現在は定まった様式がないため定型の様式を作成して行っています。
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)の見直しの必要性を判断しているか	1	4	0	4	実際には実施しているが、モニタリングという認識が薄いことを反省します。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	4	児童発達支援管理責任者または当該児童担当の常勤スタッフが参加しています。
	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	1	5	地域の連携には留意しています。
	24	学校・園との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校・退園時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	5	1	0	3	前日、保護者へ翌日のお迎え時間、場所、担当スタッフなど電話等で確認し、お迎え時のトラブル軽減に努めています。
	25	(児発について)移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	0	7	移行支援としてではないが、情報共有はしています。
	26	(児発について)移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	0	7	移行支援としてではないが、情報共有はしています。
	27	(放デイについて)移行支援として、就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	0	6	移行支援としてではないが、情報共有はしています。
28	(放デイについて)移行支援として、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、相互理解を図っているか	3	0	0	6	移行支援としてではないが、情報共有はしています。	

自己評価表（アーチきくい児童デイサービス）

3/4

実施日：2018年3月10日 回答数：9

関係機関や保護者との連携	29	児童発達支援センターや他の放課後等デイサービス(児童発達支援事業所)、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0	5	すべてのご利用者について、個別のケースで連携しています。
	30	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブ等や児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	4	児童館や公園へでかける機会を設けています。
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	1	4	基本的には児童発達支援管理責任者が参加しています。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	2	送迎時を含めて連絡を密にとるよう努めています。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	0	5	十分に行えていません。外部での研修等の案内配布などの情報提供をしています。
保護者への説明責任等	34	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2	0	4	契約時に丁寧にお話しています。
	35	(児発について)児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1	0	5	ご理解いただけるまで、きめ細かな説明に努めています。
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	5	いつでも相談にのります。日々の連絡帳を通して、保護者との連絡を密にし、信頼関係を築く一助としています。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	0	2	6	以前は茶話会を開催していましたが、最近は行っておりません。事業所見学については就労移行を考慮して実施しています。
	38	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	5	なるべくその日のうちに解消するように努めています。また、週に2回以上は管理者以外の法人役員による拡大相談窓口を設けています。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	3	「アーチ通信」を年6回奇数月15日に発行しています。また職員による「研修報告」を年6回偶数月15日に発行しています。
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	1	2	2	個人名のあるものは鍵付きロッカーに保管しています。個人名の書かれた書類はシュレッダーにかけて破棄しています。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	4	毎月の活動計画には子どもが理解しやすいようにイラストとかなのみで構成したものを配布しています。また、会報「アーチ通信」と「研修報告」には文書読み上げ2次元コード「SPコード」をつけています。アーチ通信にはひらがなを本文として漢字かな混じりをふりがなとした「ふりがな版」も発行しています。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	1	6	自立支援協議会と連携した事業所見学スタンプラリーを実施しましたが、まだ不十分と認識しています。

自己評価表（アーチきくい児童デイサービス）

4/4

実施日：2018年3月10日 回答数：9

非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	2	それぞれのマニュアルを備えて周知するとともに、警察OBの方などに来ていただき、保護者も交えた防犯教室を開催しています。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	0	4	毎月第一開所日にシェイクアウト(地震の揺れから自分の命を守る)訓練を行っています。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況と対応を確認しているか	7	0	0	2	保護者から確認をし、サポートブックにも記載していただき対応しています。
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	3	保護者から医師の話を聞き取りをし、保護者の指示にて対応しています。
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	0	3	様式に基づき記入し、共有しています。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	0	3	毎年1回はスタッフ研修を行っています。参加できなかったスタッフへは資料の配布をしています。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)に記載しているか	1	2	0	6	必要に応じて記載します。